

質問

マクロ編集のコツはありますか？

回答

Femtetから出力されたマクロは決められたルールで出力されています。

具体的には

FemtetMain関数（全体の処理をとりまとめたメイン関数）

AnalysisSetUp関数（解析条件の設定用関数）

BodyAttributeSetUp関数（ボディ属性の設定用関数）

MaterialSetUp関数（材料定数の設定用関数）

BoundarySetUp関数（境界条件の設定用関数）

MakeModel関数（モデル作成用関数）

SamplingResult関数（結果抽出用関数）

などで構成されています。

（次スライドへ続く）

回答 つづき

これらの中でマクロで自動化したい部分、プログラムを変更してより高度な処理をしたい部分を絞り、関数処理を変更したり、引数を追加することができます。マクロ関数やプロパティについてはマクロヘルプに実行例コードが掲載されているのでそれらを参考にしてプログラムを編集することも有効です。

ムラタソフトウェアのHPにはサンプルマクロが数多く掲載されていますので、やりたいことに近いマクロをダウンロードしてプログラムの記述を参考にすることも有効です。

<https://www.muratasoftware.com/support/macro/>

ムラタソフトウェア主催セミナー「初めてのFemtetマクロ」ではマクロ編集のコツを大まかに説明しています。

こちらの受講もご検討ください。(開催頻度は半年に1回)

https://www.muratasoftware.com/support/event/macro_firststep/